

2015 年度評議員会報告

期 日：2015 年 9 月 18（金）17:30～20:30
場 所：兵庫県立大学神戸商科キャンパス
教育棟 I・211 教室
出席評議員：上田恵介（会長）、植田睦之、江崎保
男（大会会長）、尾崎清明、亀田佳代子、
川上和人（企画）、高木昌興（英文誌）、
永田尚志、西海 功（図書）、濱尾章二、
早矢仕有子（副会長）、藤岡正博、三上
修
欠席評議員：中村雅彦・綿貫 豊
各種委員会代表等：日野輝明（和文誌）、大迫義人
（保護）、亀谷辰朗（記録）、山崎剛史（分
類）、和田 岳（広報）、浅井芝樹（基金
運営）東條一史（選挙管理委員長）
事 務 局：山口典之（事務局長）、笠原里恵
（会計幹事）、三上かつら（庶務幹事）、
嶋田哲郎（次期庶務幹事）
監 事：川路則友

報告・審議事項

- 1) 事務局関係報告
 - a) 会員動向
2014 年 12 月 31 日時点の会員動向の報告
があった。会員数は 1,186 名で、前年より
56 名減である。
- 2) 選挙結果報告（報告内容については選挙結果
報告を参照）
- 3) 会計報告
 - a) 2014 年度決算報告（和文誌 64 巻 2 号に掲
載）
 - b) 2015 年度予算執行状況の報告
- 4) 各種委員会報告（報告内容については委員会
報告を参照）
- 5) 審議事項
 - a) 次期各種委員会体制に関する審議
英文誌編集委員会：北村 亘・関 伸
一・中村雅彦・西海 功・早矢仕有子・三
上 修が退任し、安藤温子・上野裕介・山
崎剛史・山本誉士・依田 憲が就任、和文
誌編集委員会：嶋田哲郎・日野輝明が退任
し、田尻浩伸・森本 元が就任、広報委員
会：東條一史・時田賢一が退任し、上沖正
欣が就任、基金運営委員会：藤原宏子・綿

貫 豊が退任し、亀田佳代子・相馬雅代・濱尾章二が就任、図書管理委員：西海 功から濱尾章二へ交代、自然史学会連合担当：西海 功から山崎剛史へ交代（敬称略）。

- b) 日本鳥学会誌の投稿規程改定について（和文誌編集委員会）

オーサーシップに関する事項を投稿規定に盛り込むことについて審議された。投稿規程の第2条に「すべての共著者から、内容並びに投稿への同意が明示的に得られている必要がある。」の一文の追加、およびウェブ上で論文を投稿する際にボタンをクリックするシステムの追加、という2案について承認された。

- c) 和文誌閲覧制限について（和文誌編集委員会）

電子ジャーナルの現在の閲覧制限2年間を1年に縮めることについて、提案がなされ、承認された。

- d) 2016年度予算案の審議

予算案が承認された。

- e) 2017年度大会開催地についての審議

2017年度大会開催地について、藤岡正博氏を大会会長として茨城県つくば市で開催することが承認された。

- f) 日本鳥学会誌のEditor's Choiceの開始について（和文誌編集委員会）

日本鳥学会の和文誌でEditor's Choiceを開始し、編集者が選定した数編（未定）の論文を即座にJ-Stageにて全公開することの可否について諮られた。編集委員会が、1号に1篇の注目論文を選び、閲覧制限なし（オープンアクセス）にする、という案が諮られ、承認された。

- g) 若手対象の新賞の設置に関する検討結果について（新賞設置検討部会）

新賞設置検討部会（川上・藤岡・綿貫）より、川上氏から新賞設置に関して、説明がなされた。若手に対する奨励賞と、ポスター賞の2つを設置するという検討結果について、可否が諮られた。賞を設置することについては承認されたが、詳細検討は継続審議となった。

- h) 基金運用計画の確認（基金運営委員会）

基金運営委員長代理からの説明の後、基金運用計画について確認を行った。

- i) 大会規定・大会運営指針の策定および大会会計の取り扱いについて（事務局長）

年次大会における学会事務局と大会実行委員会の役割分担の明確化および大会開催に伴う経費の取り扱いを定めることを目的とし、大会規定（案）、大会運営指針（案）を策定することの賛否およびその内容について、提案がなされたが、継続審議事項となった。

6) 次期体制

新会長挨拶の後、次期事務局体制が新会長から提案され、承認された。次に副会長の互選が行われた。副会長に早矢仕有子氏が推薦され、承認された。

<次期事務局体制>

会長	西海 功
副会長	早矢仕有子
事務局長	山口典之
庶務幹事	嶋田哲郎
会計幹事	川上和人
監事	林 暁夫、山口恭弘